

第 6 9 回 江 風 会 総 会 議 事 録

2026 年 6 月 21 日（日）午前 10 時 30 分

於 大阪府立東淀川高等学校 会議室

役 員：浜野会長、北條副会長、児玉会計・事務局、南書記、新地広報、兼田幹事、瀧上幹事、三上幹事
大嶋顧問

一般会員：圓井さん（恩師）、越山さん（13 期）、菊池さん（11 期）、藤本さん（24 期）、上田さん（16 期）
田中さん（7 期）梅村さん（17 期）

名誉会長：山下校長

司会：新地 議長：大嶋 議事録署名人：上田

第 1 号議案 2025 年度（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）事業報告承認の件（報告：浜野会長）

1、会報誌の発行と配布（2025 年 6 月実施）別紙会報誌参照

幹事会で討議の結果発行部数は約 8900 部、配布は現役生に 900 部、送付先 8000 部は以下の通りとした。

過去 4 年間の会費納入者、恩師

1 期～18 期・25 期・27 期・38 期～48 期・53 期・56 期～59 期・62 期・65～68 期

2、第 68 回江風会総会開催 2025 年 6 月 22 日（日） 会報誌 P10 参照

3、江風会賞実施 全国大会出場部門・日常活動支援部門・生徒会支援部門 会報誌 P6 参照

4、江風会公式ウェブサイト運営

5、Facebook の運営

6、幹事会の開催

2025 年 4 月 1 日・6 月 11 日・7 月 24 日・12 月 2 日 2026 年 1 月 29 日（OL）・3 月 21 日

以上 6 回開催 OL：ZOOM によるオンライン会議

7、川高祭 9 月 6 日（土）への参加 江風会ブース 会報誌 P11 参照

第 2 号議案 2025 年度（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）決算報告承認の件（報告：児玉会計）

別紙 2025 年度決算報告書参照

収入の部について

- ・協力金収入については。2024 度は創立 70 周年記念事業への協力金が集まったが、2025 年度は平年並みの水準に戻った。年会費収入も減少している。
- ・2025 年度はこれまでコロナ禍で開けなかった懇親会を開催したので、懇親会費を計上

支出の部について

- ・会報誌送料等が前年度より増加したのは、現役生への会報誌配布を行ったため。
- ・卒業祝饅頭代の UP は原材料費等の高騰のため（しかし納入業者である中村製菓様は卒業生でもあり、市場価格より安価に提供いただいていた感謝）
- ・従来の生徒会寄付や現役生支援等を整理し、江風会賞として現役生支援を一本化した。
- ・その他支出について、例年は広告主への手土産代等が中心であるが、2025 年度はチラシ「江風会ってなに？」の制作・印刷費が含まれているため増加。このチラシは卒業式前日に卒業生へ配布され、江風会の説明資料として好評。

会計監査報告：小松 隆治 氏

小松監査は当日欠席のため、書面による監査報告が代読された。2026 年 5 月 14 日に、会計帳簿、財産目録、証憑書類との照合を実施した結果、**収支計算および財産管理について、適正かつ正確に処理されていることを認める旨の報告**

第 1 号議案・第 2 号議案に関する質疑応答

質問 1 江風会賞はいつから始まり、どのような支援を行うものか？

答え 江風会賞は 2025 年度から開始した制度であり、現役生に江風会の存在を知ってもらうこと、また現役生の活動をより積極的に支援することを目的としている（浜野会長）

質問 2 決算における「その他」の支出が、次年度予算書上で明確に反映されていないとの指摘

答え 本来であれば予備費からその他科目へ振替処理を明記すべきであったが、記載が漏れていたとの説明があり、会計処理上の記載ミスとして謝罪。今後は「その他」という曖昧な科目を予算上で極力整理し、予備費または適切な科目に組み込むことで、より分かりやすい予算・決算書となるよう改善する（児玉会計）

1 号議案、2 号議案は一括審議

採決の結果、第 1 号議案・第 2 号議案は承認された

第 3 号議案 2026 年度（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）事業計画承認の件（報告：浜野会長）

1、会報誌の発行と配布（2026 年 5 月実施）

幹事会で討議の結果発行部数は約 8900 部とし、現役生等への配布は約 1000 部、送付先約 7700 部は以下の通りとした。

過去 4 年間の会費納入者、恩師

1 期～24 期・26 期～30 期・33 期・39 期・49 期・54 期・60 期・63 期・66～69 期

2、第 69 回江風会総会・懇親会開催（本日実施）

3、江風会賞

4、川高祭への参加 江風会ブース（9 月 5 日土曜日実施）

5、Facebook・X（Twitter）・Instagram・YouTube の運営

6、幹事会の開催 随時

第 4 号議案 2026 年度（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）予算案承認の件（報告：児玉会計）

別紙 2026 年度予算案参照

予算上の考え方（報告：北條副会長）

2026 年度は、収入に対して支出が多く、単年度では支出超過となる予算案である。

現在、江風会には一定の繰越金があるが、これを単に蓄えておくだけではなく、同窓会の活性化、新会員の獲得、現役生支援など、将来につながる活動に積極的に活用する方針である。一方で、80 周年・100 周年等の将来の記念事業に備えた資金も意識しながら、計画的に取り崩していくとの説明。

第3号議案・第4号議案に関する質疑応答

質問1 会費納入者への特典について

会費を納入した会員に対し、何らかの特典やコンテンツを提供する考えはないか？

答え ・現在は会費納入者には毎年会報誌を送付しており、未納の会員には3年に1回程度の送付としているため、会報誌の送付そのものが現時点での主な特典となっている（新地広報）

・紙の会報誌を送付しないと会費納入が大きく減少することが確認されている。特に年配の会員にとっては、紙の会報誌が届くことが母校を思い出し、会費納入につながる大きなきっかけとなっているため、当面は紙の会報誌送付を継続したい（児玉会計）

・若い世代向けには、今後 SNS やデジタル媒体の活用も含め、会費納入につながる工夫を検討していく余地があるとの意見を共有

質問2：SNS 運用とリスク管理について

Facebook、Instagram、X 等の SNS 活用について、詐欺、なりすまし、投資勧誘などのリスクがあるため、慎重な運用が必要ではないか？

答え ・江風会公式ホームページや Facebook は以前より運用されており、今後も健全な情報発信を意識して進める。また、少子化により学校の生徒数・クラス数が減少している中で、現役生の活動や学校の魅力を外部に発信することは、江風会および学校、双方にとって重要である。（新地広報）

・SNS については、営利目的や不適切な発信にならないよう注意しつつ、健全な形で生徒の活躍や江風会活動を発信していくことが確認された。

3号議案、4号議案は一括審議

採決の結果、第3号議案・第4号議案は承認された

第5号議案 役員選任

- ・新会長として28期 兼田麗子さんを選出
- ・書記として39期 三上典秀さんを選出
- ・浜野ゆみ子さんは幹事に、他の幹事・役員は全員留任

採決の結果、第5号議案は承認された

第6号議案 その他

意見1 採決方法・議決手続きの見直しについて

これまで江風会総会では、拍手による承認をもって議案を可決する形が慣例となっているが、会則上の要件をより明確に満たすため、出席者数、正会員数、委任状数、賛成・反対の意思表示等を記録し、議事録上でも確認できる形にすべきではないかとの提案

答え ・従来は出席正会員の過半数の同意を得ているものとして拍手により確認してきたが、今後の運営の透明性を高めるため、次回以降の採決方法について幹事会で改めて協議する

意見2 初参加者・久しぶりの参加者もいるので、総会でも自己紹介したいとの提案

答え ・これを受け、この後自己紹介が行われた

意見3 住所不明会員への対応についての提案

転居等により会報誌や総会案内が届かなくなっている会員がいる可能性があるため、会報誌等に「住所変更・連絡先変更がある場合は江風会事務局へ連絡してほしい」旨を掲載してはどうかとの意見

答え 一同 賛同

以上第6号議案について満場一致の拍手をもって確認された

議事録署名人

